

IMP カートチャレンジ第3戦

IMP-S クラス (参加6台)

井頭モーターパーク

フレーム : birel R31

エンジン : YAMAHA KT100SD

タイヤ : BRIDGESTONE SL07

メカニック : 市村 真太郎 (チーム エッフェガーラ)

小曽戸 和彦 (チーム エッフェガーラ)

◆今大会にむけての目標、意気込み

今回ひょろりんこと津村選手は出場しない(休養中?) ということで優勝すれば次戦を待たずにSL全国大会の招待権が獲得できるという状況でした。しかし前日のサーキットには急遽出場決定のひょろりんの姿が!! やはりレースは何が起るかわからないとしみじみ思いました。



◆レース結果

- ・TT 1位 (30.637 秒)
- ・予選(各10周)
 - 第1ヒート 1位
 - 第2ヒート 3位
- 決勝グリッド 2位
- ・決勝(20周) 2位

◆シリーズランキング

- 1位 (55ポイント)
- 第3戦終了時点

◆レースレポート

- ・タイムトライアル…徐々にタイムを上げていきポール獲得。ただし、上位3台が0.1秒以内とほとんど差はなし。
- ・予選第1ヒート…伊沢選手、ひょろりんらと3台でトップ争いをし、1位でチェッカーをうける。
- ・予選第2ヒート…2、3周目に抜かれまくり5位へ転落。その後3位まで上がったが前を走る2台には追いつけず終了。予選総合結果より決勝は2番手スタートとなる。
- ・決勝ヒート…序盤はひょろりん、伊沢選手に続く3位でレースが落ち着くのを待つ。13周目の4コーナー、そろそろ動こうかと伊沢選手を難なくパス…のつもりがクロスラインをとられ失敗。次の周にパスするもひょろりんの差は「ちょっと厳しいなあ」と思える程開いてしまう。必死で追いかけるがひょろりんの心の乱れも少なくテールについたところでチェッカー。悔しい2位となった。

◆レースを終えて

なんとも情けない結果となってしまいました。よりによって最も勝たれたくない相手に敗れ、自分自身への怒りと、チームエッフェガーラの皆様に申し訳ない気持ちで一杯です。今回の敗因は伊沢選手との駆け引き以外にもいたる所で『油断』があったと思います。「順位を落しても挽回できる。最終的には優勝できる。」という驕(おご)りの気持ち、守りの姿勢から判断ミスを起こしてしまいました。

今回の様な無様なレース内容ではSL全国制覇など夢のまた夢だと痛感しました。しかし、全国大会までは5ヶ月ほど残されています。優勝するとその喜びに反省点も薄れてしまいがちです。今回の負けを財産と思えるように、今一度原点に戻り今まで反省点として挙げてきた事を少しでも改善すべく努力していきたいと思っています。